

2023年度 環境活動レポート

(対象期間 2023年6月1日 ~ 2024年5月31日)



2024年10月25日
篠崎木工株式会社

○ 目 次 ○

- 1.組織の概要
- 2.対象範囲
- 3.組織表
- 4.環境方針
- 5.環境目標
- 6.環境経営目標・活動計画及び実績表
- 7.環境目標の実績
- 8.環境負荷実績
- 9.環境活動の取組結果の評価、次年度の活動計画
- 10.環境関連法規等の遵守の状況確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- 11.代表者による全体の評価と見直し指示

1.組織の概要

1) 事業者名及び代表者名

篠崎木工株式会社

代表取締役社長 篠崎 良三

2) 所在地

本社 栃木県佐野市大橋町1366番地
石塚工場 栃木県佐野市石塚町568番地
資材部 同上
藤岡工場 栃木県栃木市藤岡町都賀1363番地
足利工場 栃木県足利市寺岡町48番地1号
宮城工場 宮城県加美郡色麻町四竈字大原217番地11号
小山工場 栃木県小山市土塔560番地 (株)UACJ押出加工小山 工場内

3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 本社 牧野 和博 TEL 0283-24-3055 FAX 0283-22-5318

事務局 石塚工場 味村 信也
藤岡工場 畠山 常典
足利工場 岡村 貴幸
宮城工場 伊藤 祐司
本社 牧野 和博

4) 事業内容

住宅用木製鋼製部材の製造販売、輸入木材の販売、住宅関連設備の販売

5) 事業規模

売上高	5,593百万円 (2023年度 (2023.6~2024.5、事業年度 令和6年5月期))		
従業員	200名 認証登録範囲対象事業所 159名		
敷地面積	本社	85㎡	足利工場 3,982㎡
	石塚工場・資材部	20,735㎡	宮城工場 8,517㎡
	藤岡工場	15,332㎡	小山工場 顧客工場内

2.対象範囲

篠崎木工株式会社の住宅用木製鋼製部材の製造販売、輸入木材の販売及び住宅関連設備の販売に関わる全ての事業を対象とする。

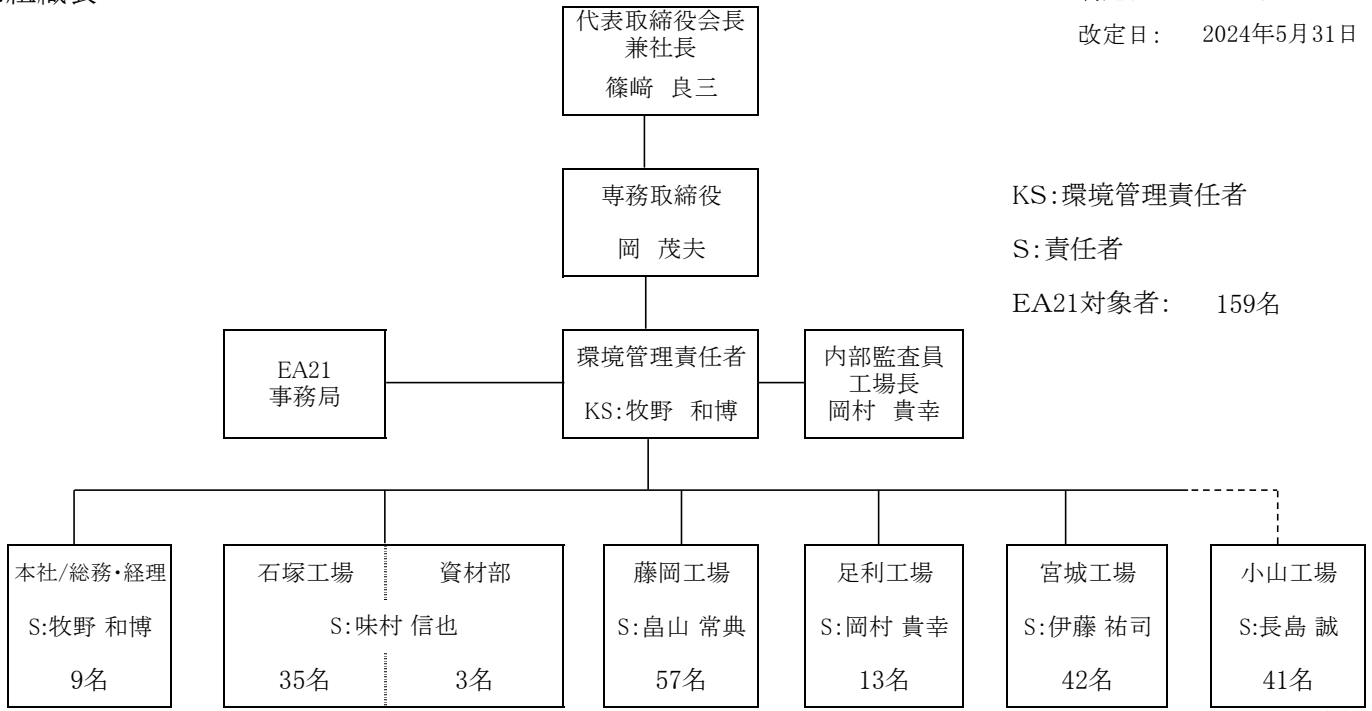
認証登録サイト	石塚工場	・プレハブ住宅用木製部材の製造販売
	資材部	・輸入木材の販売、住宅関連設備の販売
	藤岡工場	・プレハブ住宅用木製部材の製造販売
	足利工場	・プレハブ住宅用木製部材の製造販売
	宮城工場	・プレハブ住宅用木製部材の製造販売、及び鋼製部材の製造販売
	本社	・経理、総務

顧客EMS管理下にある 小山工場 ・顧客工場内請負作業(アルミ製品の検査・梱包)

3.組織表

制定日： 2013年12月1日

改定日： 2024年5月31日



KS:環境管理責任者

S:責任者

EA21対象者: 159名

※1

※1 対象範囲外
小山工場は顧客EMS
管理下にある。

◎役割・責任表

責任者	役割
代表者 (社長及び専務)	1 環境方針を制定する 2 環境管理責任者を任命する 3 環境経営システムの全体の評価と見直しを行う 4 推進に必要な要員、技術、資金等を準備する 5 課題とチャンスを確認にする
環境管理責任者	1 環境経営システムの取り組みの実行責任者として活動を推進する 2 環境経営システムに必要な文書及び記録を承認する 3 環境への負荷及び取組の自己チェックの実施リーダー 4 環境目標及び活動計画を策定し、承認する 5 環境目標及び活動計画の達成状況や実施状況の確認と評価を行い、社長に報告する 6 環境関連法規の取りまとめ、最新チェック及び遵守状況の確認する 7 代表者による全体の評価と見直しのための情報を報告する
EA21事務局	1 EMS全体の活動を確認し、高環境作りをサポートする 2 EMS共通書類(文書・記録)の原本管理を行う
内部監査員	1 内部監査を実行する
責任者	1 部門ごとの活動計画を策定し、達成状況、実施状況を把握し、環境管理責任者に報告をする 2 部門ごとの教育訓練の実施リーダー 3 外部からの苦情や要望のを受け付ける窓口 4 文書、記録を管理する
社員	1 活動計画の担当者として実行する 2 システムで定めたルール、取り組み事項を自発的、積極的に実施する

環境経営方針

当社は持続可能な木製部材の生産を通じて
「調和のとれた快適環境の創造」を企業理念に
社員一人ひとりが、未来の地球環境を考え
今やるべき活動に取り組みます。

- (1) 環境経営システムを構築し、維持向上に努めます。
- (2) 環境経営に関わる活動を継続的に改善し、省エネルギー及び環境負荷の低減に努めます。
- (3) 環境関連法規制およびその他の要求事項を順守します。
- (4) 原材料である木材を大切に使用し、不良品を作る無駄を減らし、端材を有効利用します。
- (5) クリーンウッド法を適正に運用し、合法伐採木材の流通及び利用を促進します。
- (6) 生産活動より発生する不用品は、分別することで廃棄物を削減する。
- (7) この環境経営方針は、社内外の人に周知するとともに広く開示します。

令和6年1月5日

篠崎木工株式会社

代表取締役 篠崎 良三

5.環境経営目標（2022年度～2024年度）

1) 石塚工場・資材部

	項目	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に係る項目	電気使用量 (単位:kWh/千万円)	3,634	基準年-0.5% 3,617	基準年-1% 3,597	基準年-1.5% 3,579
	ガソリン使用量 (単位:ℓ/千万円)	35.35	基準年-0.5% 35.19	基準年-1% 35.00	基準年-1.5% 34.82
	軽油使用量 (単位:ℓ/千万円)	64.39	基準年-0.5% 64.10	基準年-1% 63.75	基準年-1.5% 63.42
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	2,153	基準年-0.5% 2,143	基準年-1% 2,131	基準年-1.5% 2,121
廃棄物削減に係る項目	一般廃棄物 (単位:kg/千万円)	7.203	基準年-0.5% 7.171	基準年-1% 7.131	基準年-1.5% 7.095
	産業廃棄物 木材 (単位:kg/千万円)	502	基準年-0.5% 500	基準年-1% 497	基準年-1.5% 494
	産業廃棄物 廃プラ (単位:kg/千万円)	108	基準年-0.5% 102.14	基準年-1% 101.11	基準年-1.5% 100.09
	水使用量 (単位:m3/千万円)	2.685	基準年-0.5% 2.673	基準年-1% 2.658	基準年-1.5% 2.650
	化学物質使用量の制御 防腐液も客先指定濃度の達成	達成	達成	達成	達成
	事業項目・輸入木材の不良率低減(単位:%)	7.85	基準年-0.5% 7.815	基準年-1% 7.77	基準年-1.5% 7.74

* 電気の排出係数:0.523kgCO2/kWhを使用(令和3年度公表の大和ハウス工業の排出係数)

* 二酸化炭素排出量は2022年度の購入電力消費量(554,947kWh)に排出係数0.523を乗じた原単位。

* 原単位は工場売上高当りである。

5.環境経営目標 (2022年度～2024年度)

2)藤岡工場

	項目:(原単位/千万円)	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に関する項目	電力消費量 (単位:kWh/千万円)	3,004	基準年-0.5% 2,989	基準年-1% 2,974	基準年-1.5% 2,959
	ガソリン消費量 (単位:ℓ/千万円)	5.61	基準年-0.5% 5.58	基準年-1% 5.55	基準年-1.5% 5.53
	軽油消費量 (単位:ℓ/千万円)	63.51	基準年-0.5% 63.19	基準年-1% 62.87	基準年-1.5% 62.56
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	1,763	基準年-0.5% 1,754	基準年-4.2% 1,689	基準年-4.2% 1,689
廃棄物削減に関する項目	一般廃棄物排出量 (単位:kg/千万円)	9.91	基準年-0.5% 9.860	基準年-1% 9.811	基準年-1.5% 9.761
	産業廃棄物(合板) (単位:kg/千万円)	491	基準年-0.5% 489	基準年-1% 486	基準年-1.5% 484
	産業廃棄物 廃プラ (単位:kg/千万円)	170.9	基準年-0.5% 170.05	基準年-1% 169.19	基準年-1.5% 168.34
水使用量の節減 (単位:m3/千万円)		22.02	基準年-0.5% 21.910	基準年-1% 21.800	基準年-1.5% 21.690
化学物質使用量の制御		必要なSDSを入手し維持管理する			
事業項目・カタ製木材の不良率低減 (単位:%)		6.7	基準年-0.5% 6.64	基準年-1% 6.60	基準年-1.5% 6.57

* 電気の排出係数：0.523kgCO2/kWhを使用（令和3年度公表の大和ハウス工業の排出係数）

* 二酸化炭素排出量は2021年度の購入電力消費量（571,003kWh）に排出係数0.523を乗じた原単位

* 原単位は工場売上高当りである

5.環境経営目標（2022年度～2024年度）

3) 足利工場

	項目	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に関する項目	電気使用量 (単位:kWh/千万円)	1,413	基準年-0.5% 1,406	基準年-1% 1,399	基準年-1.5% 1,392
	ガソリン使用量 (単位:ℓ/千万円)	8.86	基準年-0.5% 8.82	基準年-1% 8.77	基準年-1.5% 8.73
	軽油使用量 (単位:ℓ/千万円)	49.00	基準年-0.5% 48.76	基準年-1% 48.51	基準年-1.5% 48.27
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	999	基準年-0.5% 994	基準年-1% 989	基準年-1.5% 984
廃棄物削減に関する項目	一般廃棄物 (単位:kg/千万円)	2,759	基準年-0.5% 2,745	基準年-1% 2,731	基準年-1.5% 2,718
	産業廃棄物 木材 (単位:kg/千万円)	173	基準年-0.5% 172	基準年-1% 171	基準年-1.5% 171
	産業廃棄物 廃プラ (単位:kg/千万円)	242.07	基準年-0.5% 240.86	基準年-1% 239.65	基準年-1.5% 238.44
	水使用量 (単位:m3/千万円)	3,293	基準年-0.5% 3,277	基準年-1% 3,260	基準年-1.5% 3,244
	化学物質使用量の制御 防腐液も客先指定濃度の維持	—	維持	維持	維持
	事業項目 ・パネルの不良率を低減させる (単位:%)	0.0310	基準年-0.5% 0.0308	基準年-1% 0.0307	基準年-1.5% 0.0305

* 電気の排出係数：0.523kgCO2/kWhを使用（令和3年度公表の大和ハウス工業の排出係数）

* 二酸化炭素排出量は2021年度の購入電力消費量(55,458kWh)に排出係数0.523を乗じた原単位

* 原単位は工場売上高当りである

5.環境経営目標 (2022年度～2024年度)

4)宮城工場

	項目	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に 関係する項目	電気使用量 (単位:kWh/千万円)	3,898	基準年-0.5% 3,880	基準年-1% 3,859	基準年-1.5% 3,840
	ガソリン使用量 (単位:リットル/千万円)	18.27	基準年-0.5% 18.18	基準年-1% 18.09	基準年-1.5% 18.00
	軽油使用量 (単位:リットル/千万円)	91.64	基準年-0.5% 91.18	基準年-1% 90.72	基準年-1.5% 90.27
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	2,036	基準年-0.5% 2,026	基準年-1% 2,016	基準年-1.5% 2,005
廃棄物削減に 関係する項目	一般廃棄物 (単位:kg /千万円)	8.360	基準年-0.5% 8.318	基準年-1% 8.276	基準年-1.5% 8.235
	産業廃棄物 木材 (単位:kg/千万円)	203	基準年-0.5% 202	基準年-1% 201	基準年-1.5% 200
	産業廃棄物 廃プラ (単位:kg/千万円)	236.00	基準年-0.5% 234.82	基準年-1% 233.64	基準年-1.5% 232.46
	水使用量 (単位:m3/人)	0.750	基準年-0.5% 0.746	基準年-1% 0.743	基準年-1.5% 0.729
	化学物質使用量の制御 防腐液の客先指定濃度の維持	—	維持	維持	維持
	事業項目 ・内壁枠不具合の低減(単位:%)	0.03	基準年-0.5% 0.0299	基準年-1% 0.0297	基準年-1.5% 0.0296

* 電気の排出係数:0.523kgCO2/kWhを使用(令和3年度公表の大和ハウス工業の排出係数)

* 二酸化炭素排出量は2021年度の購入電力消費量(294,845kWh)に排出係数0.523を乗じた原単位

* 原単位は工場売上高当りである

5.環境経営目標 (2022年度～2024年度)

5) 本社

	項目	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に関する項目	電気使用量 (単位:kWh)	12,664	基準年-1% 12,537	基準年-2% 12,411	基準年-3% 12,284
	ガソリン使用量 (単位:ℓ)	4,516.02	基準年-1% 4,470.86	基準年-2% 4,425.70	基準年-3% 4,380.54
	灯油使用量 (単位:ℓ)	125.00	基準年-1% 123.75	基準年-2% 122.50	基準年-3% 121.25
	液化石油ガス(LPG)使用量 (単位:kg)	6.62	基準年-1% 6.55	基準年-2% 6.49	基準年-3% 6.42
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2)	16,540	基準年-1% 16,375	基準年-2% 16,209	基準年-3% 16,044
削減に棄 項関物 目係削	一般廃棄物 (単位:kg)	268	基準年-1% 265	基準年-2% 263	基準年-3% 260
	水使用量 (単位:m3)	82.6	基準年-1% 81.8	基準年-2% 80.9	基準年-3% 80.1

* 電気の排出係数:0.452kgCO2/kWhを使用(2021年公表の東京電力の排出係数)

* 化学物質の使用はない為、目標として取り上げていない

6.環境経営目標・活動計画及び実績表(2023年度)

石塚工場・資材部 2023年度 環境目標・活動計画及び実績表

作成日:2023年11月20日



中長期目標(2024年度)	2023年度目標 (2022.6.1~2023.5.31)	施策(対策)	取組内容	月												担当者	責任者		
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5				
二酸化炭素排出削減 電力消費量 3,579kWh/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 3,634kWh/千万円	電力消費量 3,587kWh/千万円 1%削減 (2021年度基準) 3,632L/千万円	節電意識の徹底 <共通> <事務系> <工場内> ※その他、手順書参照	昼休み消灯	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	永井	清水		
			エアコン温度設定表示	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		永井	
			設備使用後は、スイッチOFF	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員従業員	
			生産率向上	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		安藤	
ガソリン消費量 34.8L/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 35.35L/千万円	ガソリン消費量 35.00L/千万円 1%削減 (2021年度基準) 35.35L/千万円	エコドライブの推進 ※その他、手順書参照	アイドリング・ストップ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員従業員	味村		
			不必要なスピードは出さない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員従業員	
			急発進・急停止を避ける	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員従業員	
			社用車の燃費の把握	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員従業員	
軽油消費量 63.42L/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 64.39L/千万円	軽油消費量 63.75L/千万円 1%削減 (2021年度基準) 64.39L/千万円	エコドライブの推進 ※その他、手順書参照	アイドリング・ストップ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員従業員	安藤		
			不必要なスピードは出さない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員従業員	
			急発進・急停止を避ける	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員従業員	
			フォークリフトの燃費の把握	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員従業員	
一般廃棄物排出量削減 7.095kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 7.203kg/千万円	一般廃棄物排出量削減 7.131kg/千万円 1%削減 (2021年度基準) 7.203kg/千万円	ゴミ用紙の削減 ※その他、手順書参照	ペーパーレス推進	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	業務課	船江		
			現在の印刷物の必要性再確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		資材部	
産業廃棄物(木材)排出量削減 494kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 502kg/千万円	産業廃棄物排出量削減 497kg/千万円 1%削減 (2021年度基準) 502kg/千万円	廃棄物を減らす意識改革 ※その他、手順書参照	歩留り向上による削減	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課長	安藤		
			転用材の向上	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		各課長	
産業廃棄物(その他)排出量削減 105.35kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 108kg/千万円	産業廃棄物排出量削減 106.43kg/千万円 1%削減 (2021年度基準) 108kg/千万円	廃棄物を減らす意識改革 ※その他、手順書参照	PPバンド再利用	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課長	鈴木(勉)		
			廃棄物の分別	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		各課長	

石塚工場・資材部 2023年度 環境目標・活動計画及び実績表

作成日:2023年11月20日



中長期目標(2024年度)	2023年度目標 (2022.6.1~2023.5.31)	施策(対策)	取組内容	月												担当者	責任者		
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5				
水使用量の削減 2,650m ³ /千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 2,656m ³ /千万円	水使用量の削減 2,638m ³ /千万円 1%削減 (2021年度基準) 2,656m ³ /千万円	節水意識の向上	節水の表示	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	小川	味村	
			節水の呼びかけ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		小川
化学物質 使用量の制御 防腐液の客先指定濃度 維持	化学物質使用量の維持	防腐液の客先指定濃度維持 SDSを入手し、周知する	請求書から該当品の確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	石山	永井	
			適正濃度の確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		鈴木
事業項目 輸入木材不良率低下 7.74%/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 7.85%	輸入木材不良率低下 7.770% 1%削減 (2021年度基準) 7.85%	使用材料の見直し	購入先への改善要求	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課長	味村	
			顧客へ付随変更の提案	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		各課長
			可能な限り転用・製品にする	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		各課長
5Sの推進	5Sの推進	工場の整理・整頓	不要物の除去	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員従業員	味村	
			表示の強化	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員従業員
			通路と作業場の明確化	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員従業員

---> :計画 → :実施

評価(実施項目数) A : 90%以上 B : 80%以上 C : 70%以上 D : 69%以下

実績	27	26	26	26	24	25	25	26	25	25	25	25	
計画	29	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	
評価	A	A	B	A	B	B	B	A	B	B	B	B	
確認	石山	石山	石山	石山	石山	石山	石山	石山	石山	安藤	安藤	安藤	
F付	6/30	7/31	8/31	9/29	10/31	11/30	12/29	1/31	2/29	3/31	4/28	5/31	

藤岡工場 2023年度 環境経営目標・活動計画及び実績表

作成日:2023年7月28日



中期目標(2024年度)	2023年度目標 (2023.6.1~2024.5.31)	施策(対策)	取組内容													担当者	責任者				
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5						
電力消費量 2,959 KWh/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 3,004 KWh/千万円	電力消費量 2,974 KWh/千万円 1.0%削減 (2021年度基準) 3,004 KWh/千万円	節電効果の実行 (共通) ※詳細は電力消費量削減手順による	出荷量に合った稼働時間の適正化	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課課長	富山		
			スキマ時間の設備電源オフ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		各担当者	
			設備の負荷低減(清掃・メンテナンス)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	各担当者
			使用していない場所の消灯	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	各担当者
			エアコの強弱調整による空調環境	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	業務課
ガソリン消費量 5.53 ㊦/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 5.61 ㊦/千万円	ガソリン消費量 5.55 ㊦/千万円 1.0%削減 (2021年度基準) 5.61 ㊦/千万円	無駄な運転を無くす ※詳細はエコドライブ推進手順による	乗り合い運転の推進	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	使用者	加藤(美)		
			外出は一度にまとめて行う	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		使用者	
			現場差し替え品を流出させない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	各課課長
軽油消費量 62.56 ㊦/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 63.51 ㊦/千万円	軽油消費量 62.87 ㊦/千万円 1.0%削減 (2021年度基準) 63.51 ㊦/千万円	無駄な運転を無くす ※詳細はエコドライブ推進手順による	運搬作業以外はエンジンを切る	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	資格者	山岸		
			フォークリフトを移動手段に使用しない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	資格者
			レイアウトによる搬送距離の短縮	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	各課課長
			現場差し替え品を流出させない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	各課課長
一般廃棄物排出量削減 9.761 kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 9.910 kg/千万円	一般廃棄物排出量削減 9.811 kg/千万円 1.0%削減 (2021年度基準) 9.910 kg/千万円	コピー用紙の削減 ※詳細はコピー用紙削減手順による	進捗書類など両面印刷の推進	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	使用者	高橋・長島		
			不必要な指示書は印刷しない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	使用者
			製作リスト・図面のモニター化	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	生産管理課
			ネットワークを利用したペーパーレス	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	生産管理課
産業廃棄物(合板)排出量削減 484 kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 491 kg/千万円	産業廃棄物(合板)排出量削減 486 kg/千万円 1.0%削減 (2021年度基準) 491 kg/千万円	廃棄物を減らす創意工夫 ※詳細は廃棄物削減手順による	端材利用と顧客への改善提案	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課課長	館野		
			歩留向上による端材削減	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	各課課長
			部材取り表を作成し明確にする	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	各課課長
			規格の理解と実作業との整合	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	各課課長
産業廃棄物(廃77)排出量削減 168.34 kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 170.90 kg/千万円	産業廃棄物(廃77)排出量削減 169.19 kg/千万円 1.0%削減 (2021年度基準) 170.90 kg/千万円	廃棄物を減らす創意工夫 ※詳細は廃棄物削減手順による	過剰な梱包資材の購入低減	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課課長	山岸		
			断熱材カットの歩留向上	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	パネル課
			バンド類の社内リサイクルの実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	全員
			分別廃棄による全体量の低減	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	全員
水使用量の節減 21.690 m3/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 22.020 m3/千万円	水使用量の節減 21.800 m3/千万円 1.0%削減 (2021年度基準) 22.020 m3/千万円	節水対策の実行	水道のバルブによる水圧の調整	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	富山	富山		
			高圧洗浄機による清掃の実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	富山
			洗浄等は井戸水を使用する	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	富山
化学物質使用量の制御 必要なSDSを入手し維持管理する (2021年度基準) 必要なSDSを入手し維持管理する	化学物質使用量の制御 必要なSDSを入手し維持管理する (2021年度基準) 必要なSDSを入手し維持管理する	該当品の適正管理	SDSを定期的に更新を確認する	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	富山	富山		
			適正な保管や取扱いへの確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	富山
事業項目:カタ製木材の不良率低減 6.57% 1.5%削減 (2021年度基準) 6.67%	カタ製木材の不良率低減 6.60% 1.0%削減 (2021年度基準) 6.67%	規格の明確化と材料の見直し	担当者へ基準の理解を深める	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	新村	新村		
			購入先への現状報告と改善要求	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	新村
5Sの推進	5Sの推進	工場の整理・整頓	ゴミの分類から置場の識別管理	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員	富山		
			主要物に対する埃の除去(電気・設備)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員	
			識別による状態確認が出来る	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	全員

---> →

:計画 :実施

評価(実施項目数) A : 95%以上 B : 85%以上 C : 75%以上 D : 74%以下

実施	20	19	17	24	20	22	18	17	19	23	18	17
計画	23	27	28	25	23	27	26	26	26	28	26	26
評価	B	D	D	A	B	C	D	D	D	C	D	D
確認	富山	富山	富山	富山	富山	富山	富山	富山	富山	富山	富山	富山
日付	7/28	8/3	9/12	10/13	11/11	12/12	1/16	2/2	3/6	4/11	5/15	6/12

足利工場 2023年度 環境経営目標・活動計画及び実績表

作成日:2023年6月19日

承認	担当
秋野	岡村

中期目標(2024年度)	2023年度目標 (2023.6.1~2024.5.31)	施策(対策)	取組内容	2023年度												担当者	責任者											
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5													
ガソリン消費量 8.73L/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 8.86L/千万円	ガソリン消費量 8.77L/千万円	エコドライブの推進 <small>(詳細はエコドライブ手順による)</small>	プリウスエコモード推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員	岡村		
			アイドリング・ストップ(10分間で130cc消費)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全員	
			不必要なスピードは出さない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全員	
			急発進・急停止を避ける	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全員	
プリウス燃費の把握(月単位)																								岡村				
軽油消費量 48.27L/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 49.00L/千万円	軽油消費量 48.51L/千万円	エコドライブの推進 <small>(詳細はエコドライブ手順による)</small>	アイドリング・ストップ(10分間で130cc消費)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	大島	大島		
			不必要なスピードは出さない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		大島	
			急発進・急停止を避ける	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		大島	
電力消費量 1,392KWh/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 1,413KWh/千万円	電力消費量 1,399KWh/千万円	節電意識の徹底 <small>(詳細は電力消費量削減手順による)</small>	昼休み消灯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	沖中	落合		
			エアコン温度設定表示・調節	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		小峰	
			設備使用後はスイッチOFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全員	
			休憩時コンプレッサ電源オフ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		宗崎	
			設備の稼働と停止のメリハリをつける。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	沖中				
一般廃棄物排出量削減 2.718kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 2.759kg/千万円	一般廃棄物排出量削減 2.731kg/千万円	コピー用紙の削減 <small>(詳細はコピー用紙削減手順による)</small>	必要に応じての裏紙の再利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員	小峰		
			生産指示書両面印刷推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		小峰	
			電子文書のFAX送信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全員	
産業廃棄物排出量(木材)削減 171kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 173kg/千万円	産業廃棄物排出量(木材)削減 171kg/千万円	廃棄物を減らす意識改革 <small>(詳細は廃棄物削減手順による)</small>	釘付木材の解体、分別	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	落合	沖中		
			端材再利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		沖中	
			合板、無垢材の分別	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		沖中	
			原材料見直しによる提案																								岡村	
			端材の転用先を増やす																					沖中				
産業廃棄物排出量(廃プラ)削減 238.44kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 242.07kg/千万円	産業廃棄物排出量(廃プラ)削減 239.65kg/千万円	適切な廃棄処分	バンド容器の乾燥、処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	落合	沖中		
水使用量の節減 3.244m3/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 3.293m3/千万円	水使用量の節減 3.260m3/千万円	節水意識の向上 <small>(詳細は節水手順による)</small>	節水の表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小峰	小峰		
			節水の呼びかけ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		小峰	
使用量の制御	化学物質使用量の制御 SDSを入手し周知する 維持	防腐液の客先指定濃度維持	防腐剤使用量の確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	大島	大島		
			防腐剤分析試験表の確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		大島	
パネル不良率低減 0.0305% 1.5%削減 (2021年度基準) 0.0310%	パネル不良率低減 0.0307%	投入材料の検品	不良に繋がる材料をはじく	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小川	小川		
			材料の投入向き確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		小川	
5Sの推進	5Sの推進	工場の整理・整頓	20分間集中清掃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員	沖中		
法令順守状況		チェックシート、点検表の記入	マニフェストの返送状況管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小峰	岡村		
			浄化槽点検記録の確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		岡村	
			騒音測定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		落合	
			エアコン自主点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		沖中	

実施項目	31	29	29	31	29	28	31	29	30	30	28	29
評価	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日付	7/5	8/8	9/9	10/7	11/7	12/9	1/6	2/6	3/9	4/7	5/9	6/2

---> :計画 ○(実) :実施

評価(実施項目数) A:95%以上 B:85%以上 C:75%以上 D:50%以下

宮城工場 2023年度 環境経営目標・活動計画及び実績表

作成日:2024年5月31日

承認 担当
収 橋
野 本

中期目標(2024年度)	2023年度目標 (2023.6.1~2024.5.31)	施策(対策)	取組内容	2023年度												担当者	責任者	
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5			
二酸化炭素排出抑制	軽油消費量 90.27% 1.5%削減 (2021年度基準) 91.64%	軽油消費量 90.72% 1.0%削減	エコドライブの推進 エコドライブ推進手順書参照	アイドリング・ストップ	----->												全員	遠藤
				不必要なスピードは出さない	----->												全員	
				急発進・急停止を避ける。	----->												全員	
				空荷走行の低減	----->												全員	
	ガソリン 18.00/ 1.5%削減 (2021年度基準) 18.27%	ガソリン 18.09/ 1.0%削減	エコドライブの推進 エコドライブ推進手順書参照	アイドリング・ストップ	----->												全員	伊藤
				不必要なスピードは出さない	----->												全員	
				急発進・急停止を避ける。	----->												全員	
	電力消費量 3,840Kwh/ 1.5%削減 (2021年度基準) 3,898KWh/	電力消費量 3,859Kwh/ 1.0%削減	節電意識の徹底 <共通> // <工場内> // 電力消費量削減手順書参照	昼休み消灯	----->												全員	工場管理者
				エアリークのバトロール	----->												高橋	
				コンプレッサ稼働時間の短縮	----->												伊藤	
				使用後は、主電源 OFF	----->												全員	
廃棄物減出抑制	一般廃棄物排出量削減 8.235kg/ 1.5%削減 (2021年度基準) 8.360kg/	一般廃棄物排出量削減 8.276kg/ 1.0%削減	コピー用紙の削減 コピー用紙削減手順書参照	印刷前に必要か再確認	----->												業務課	伊藤
				現在の印刷物の必要性再確認	----->												業務課	
				裏紙の再利用	----->												業務課	
	産業廃棄物(木材)排出量削減 200kg/ 1.5%削減 (2021年度基準) 203kg/	産業廃棄物排出量削減 201kg/ 1.0%削減	廃棄物を減らす意識改革 廃棄物削減手順書参照	歩留り向上による削減	----->												製造課	橋本
				リン木、パレットの返却	----->												製造課	
				端材の再利用を検討	----->													
	産業廃棄物(廃プラ)の削減 232.46kg/ 1.5%削減 (2021年度基準) 236kg/	産業廃棄物(廃プラ)の削減 233.64kg/ 1.0%削減	廃棄物を減らす意識改革 廃棄物削減手順書参照	廃棄物の少ない材料を検討	----->												パネル課	遠藤
				廃棄物の圧縮・減容	----->												パネル課	
水使用量の節減 0.729m ³ /人 1.5%削減 (2021年度基準) 0.75m ³ /人	水使用量の節減 0.743m ³ /人 1.0%削減		節水の呼びかけ	----->												伊藤(和)	伊藤(和)	
			節水のポスターの掲示	----->												伊藤(和)		
化学物質使用量 濃度の維持管理	化学物質使用量 濃度の維持管理	防錆剤使用量の確認	請求書から該当品の確認	----->												橋本	橋本	
			防錆液濃度の定期検査	----->												橋本		
事業項目:内壁枠生産不具合の低減 0.0296% 1.5%削減 (2021年度基準) 0.03%	内壁枠生産不具合の低減 0.0297% 1.0%削減	組立にまつわる不具の低減 品質改善 機械チョコ停の原因と対策	組立後の再確認	----->												遠藤	遠藤	
5Sの推進	5Sの推進	工場の整理・整頓 安全衛生バトロール	安全衛生バトロール	----->												全員	伊藤	
			通路と作業場の明確化	----->												全員		

---> :計画 → :実施
 評価(実施項目数) A: 18以上/26 B: 12以上/26 C: 6以上/26 D: 5以下/26

実施項目	25	26	25	25	25	25	25	25	26	25	25	25
評価	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
確認	橋本	橋本	橋本	橋本	橋本	橋本	橋本	橋本	橋本	橋本	橋本	橋本
日付	6/12	7/11	8/22	9/18	10/23	11/17	12/8	1/15	2/16	3/15	4/19	5/17
日付	6/12	7/10	8/7	9/4	10/9	11/14	12/12	1/16	2/13	3/6	4/10	5/15

本社 2023年度 環境経営目標・活動計画及び実績表

作成日:2023年6月23日

承認	担当

中期目標(2024年度)	2023年度目標 (2023.6.1~2024.5.31)	施策(対策)	取組内容	取組項目にチェック✓											担当者	責任者				
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4			5			
二酸化炭素排出抑制	電力消費量		節電意識の高揚	お昼休み消灯	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	牧野
	12,284 KWh	12,411 KWh		照明の引き点灯	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	3%削減	2%削減		扇風機やサーキュレーターの有効活用	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	(2021年度基準)	(2021年度基準)		ブラインド等で日差しを調節	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	12,664 KWh	12,664 KWh		NO残業デー実施によるパソコンやプリンターの使用時間削減	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	ガソリン消費量		エコドライブの推進 (詳細はエコドライブ手順書による)	アイドリング・ストップの励行	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	牧野
	4,380.54L	4,425.70L		法定速度を順守する	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	3%削減	2%削減		急発進・急停止を避ける	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	(2021年度基準)	(2021年度基準)		早めのアクセルオフ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	4,516.02 L	4,516.02 L		外出業務の集約・効率化を図る 予定に余裕を持った行動	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	灯油消費量		節約意識の高揚	車内の整理(不要な荷物は積まない)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	牧野
	121.25	122.50L		ファンヒーターの使用時間の限定 エアコンとの併用による効率化	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	3%削減	2%削減																		
	(2021年度基準)	(2021年度基準)																		
	125.00L	125.00L																		
液化石油ガス(LPG)消費量		節約意識の高揚	必要な給油量を意識し燃焼時間を短縮(ガスコンロ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	荒川・岡村	岡村	
6.42kg	6.49kg		洗い物の回数削減(ガス給湯器の使用時間の短縮)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	荒川・岡村		
3%削減	2%削減		ガス給湯器の冬季のみの使用	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	荒川・岡村		
(2021年度基準)	(2021年度基準)																			
6.62kg	6.62kg																			
一般廃棄物排出量削減		コピー用紙の削減 (詳細はコピー用紙削減手順書による)	裏紙使用率の向上	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	岡村	
260kg	262.6kg		コピー機使用後のリセット習慣	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員		
3%削減	2%削減		印刷前に確認	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員		
(2021年度基準)	(2021年度基準)		社内で使用する封筒は使用済み封筒を再利用	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		全員
268kg	268kg																			
水使用量節減		節約意識の高揚	洗い物回数の削減、効率化	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	岡村	
80㎡	81㎡		水漏れの定期点検	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員		
3%削減	2%削減		節水ポスターの掲示の強化	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員		
(2021年度基準)	(2018年度基準)																			
82.6㎡	82.6㎡																			
5Sの推進		事務所、倉庫の整理・整頓	不要物の処分	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	牧野	
			「5S活動」のポスター掲示	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	牧野		
			取納の工夫	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		全員
				実施項目	24	24	25	25	24	24	25	25	24	25	24	24				
				評価	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A				
				確認																
				日付	7/10	8/8	9/11	10/11	11/10	12/14	1/10	2/16	3/15	4/17	5/10	6/6				

評価(実施項目数)

A: 22以上 B: 17以上 C: 12以上 D: 11以下

7.環境経営目標の実績

全事業所、2023年6月～2024年5月の実績である。

1) 石塚工場・資材部

項 目	基準	実績	基準との差		評価
①電気使用量(kwh/千万円)	3,634	3,854	220.00	6.05%	未達
②ガソリン使用量(ℓ/千万円)	35.35	43.00	7.65	21.64%	未達
③軽油使用量(ℓ/千万円)	64.39	67.53	3.14	4.88%	未達
④二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /千万円)	2,153	2,291	138	6.41%	未達
⑤一般廃棄物排出量(kg/千万円)	7.20	6.87	-0.33	-4.62%	達成
⑥産業廃棄物(木材)排出量(kg/千万円)	831.05	596.66	-234	-28.20%	達成
⑦産業廃棄物(廃プラ)排出量(kg/千万円)	108	46.5	-62	-56.9%	達成
⑧総排水量(m ³ /千万円)	2.685	3.292	0.61	22.61%	未達
⑨化学物質使用量の制御(kg/千万円)	達成	達成	達成		達成
⑩輸入木材の不良率低減(%)	7.85	7.36	-0.49	-6.24%	達成

2) 藤岡工場

項 目	基準	実績	基準との差		評価
①電気使用量(kwh/千万円)	3,004	2,766	-238	-7.92%	達成
②ガソリン使用量(ℓ/千万円)	5.61	4.91	-0.70	-12.48%	達成
③軽油使用量(ℓ/千万円)	63.51	56.55	-6.96	-10.96%	達成
④二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /千万円)	1,763	1,740	-23	-1.29%	達成
⑤一般廃棄物排出量(kg/千万円)	9.910	8.21	-1.70	-17.15%	達成
⑥産業廃棄物(木材)排出量(kg/千万円)	491	509	18	3.66%	未達
⑦産業廃棄物(廃プラ)排出量(kg/千万円)	170.9	50.38	-120.52	-70.52%	達成
⑧総排水量(m ³ /千万円)	22.020	2.281	-19.739	-89.64%	達成
⑨化学物質使用量の制御(kg/千万円)	維持	維持	維持		維持
⑩2×4材の不良率(%)	6.7	12.2	5.5	81.49%	未達

3) 足利工場

項 目	基準	実績	基準との差		評価
①電気使用量(kwh/千万円)	1,413	1,639	226	16.0%	未達
②ガソリン使用量(ℓ/千万円)	8.86	9.31	0.45	5.1%	未達
③軽油使用量(ℓ/千万円)	49.00	46.96	-2.04	-4.2%	達成
④二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /千万円)	999	1,081	82	8%	未達
⑤一般廃棄物排出量(kg/千万円)	2,759	3,090	0.331	12.0%	未達
⑥産業廃棄物(木材)排出量(kg/千万円)	173	142	-31	-17.9%	達成
⑦産業廃棄物(廃プラ)排出量(kg/千万円)	242.07	227.29	-15	-6.1%	達成
⑧総排水量(m ³ /千万円)	3,293	3,619	0.326	9.9%	未達
⑨化学物質使用量の制御(kg/千万円)	維持	維持	維持		維持
⑩パネルの不良率(%)	0.0310	0.0000	-0.031	-100.0%	達成

4) 宮城工場

項 目	基準	実績	基準との差		評価
①電気使用量(kwh/千万円)	3,898	3,556	-342	-8.8%	達成
②ガソリン使用量(ℓ/千万円)	18.27	22.51	4.24	23.2%	未達
③軽油使用量(ℓ/千万円)	91.64	78.78	-12.86	-14.0%	達成
④二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /千万円)	2,036	1,860	-176	-8.64%	達成
⑤一般廃棄物排出量(kg/千万円)	8,360	8,150	-0.210	-2.5%	達成
⑥産業廃棄物(木材)排出量(kg/千万円)	203	26.43	-177	-87.0%	達成
⑦産業廃棄物(廃プラ)排出量(kg/千万円)	236	217	-19	-8%	達成
⑧総排水量(m ³ /人)	0.75	0.9	0.2	20.0%	未達
⑨化学物質使用量の制御(kg/千万円)	維持	維持	維持		維持
⑩内壁枠不具合の低減(%)	0.03	0.018	-0.01	-40.0%	達成

5) 本社

項 目	基 準	実 績	基準との差		評 価
①電気使用量(kwh)	12,664.00	13,722.00	1,058.00	8.35%	未達
②ガソリン使用量(%)	4,516.02	5,037.80	521.78	11.55%	未達
③灯油使用量(%)	125.00	36.00	-89.00	-71.20%	達成
④液化石油ガス(LPG)使用量(kg)	6.62	6.67	0.05	0.76%	未達
⑤二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	16,540.00	17,994.00	1,454.00	8.79%	未達
⑥一般廃棄物排出量(kg)	268.00	209.00	-59.00	-22.01%	達成
⑦総排水量(m ³)	82.60	77.83	-4.77	-5.77%	達成

* 本社は電気の排出係数:0.451kgCO₂/kWhを使用(令和5年公表の東京電力エナジーパートナーの排出係数)

* 石塚、藤岡、足利、宮城の各工場は電気の排出係数:0.431kgCO₂/kWhを使用(令和5年公表の大和ハウス工業の排出係数)

8. 主な環境負荷実績(2020～2023年度)

			2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素排出量	電力使用量 単位:Kwh	藤岡工場	585,814	571,003	551,175	620,964
		石塚工場	473,861	555,877	508,298	497,638
		足利工場	77,833	81,948	76,727	74,294
		宮城工場	277,439	294,845	292,329	287,964
		本 社	12,806	12,664	13,197	13,722
		合 計	1,427,753	1,516,337	1,441,726	1,494,582
	化石燃料 ガソリン・軽油 単位:t	藤岡工場	13,528	14,151	12,059	13,799
		石塚工場	13,983	15,233	15,154	14,297
		足利工場	3,459	3,356	2,827	2,550
		宮城工場	8,270	8,314	7,917	8,202
		本 社	5,426	4,516	5,544	5,038
		合 計	44,666	45,570	43,501	43,886
	二酸化炭素 単位:kg-CO2	藤岡工場	370,841	362,375	346,359	390,685
		石塚工場	305,595	355,472	303,648	295,842
		足利工場	53,391	55,458	51,127	49,002
宮城工場		179,591	189,768	152,888	150,605	
本 社		18,925	16,540	19,029	17,994	
合 計		928,343	979,613	873,051	904,128	
廃棄物排出量 単位:t	藤岡工場	134	128	99	127	
	石塚工場	57	56	84	88	
	足利工場	29	24	24	17	
	宮城工場	99	33	28	19	
	本 社	0.29	0.32	0.29	0.21	
	合 計	319	242	235	251	
総排水量 単位:m ³	藤岡工場	4,299	4,185	562	512	
	石塚工場	400	410	561	424	
	足利工場	216	191	183	164	
	宮城工場	289	307	309	324	
	本 社	81	83	98	78	
	合 計	5,285	5,176	1,713	1,502	
化学物質使用量 単位:kg	藤岡工場	0	0	0	0	
	石塚工場	432	432	109	109	
	足利工場	116	130	171	92	
	宮城工場	100	90	91	73	
	本 社	0	0	0	0	
	合 計	648	652	371	274	

9.環境活動の取組結果の評価、次年度の取組内容

1) 環境活動の取組結果の評価

①二酸化炭素排出量の削減

石塚工場・資材部

電力消費量が+220KWH/千万円、ガソリン消費量が+2L/千万円、軽油消費量が+3.14L/千万円となり、二酸化炭素排出量が+138kg-co2/千万円となった。2023年12月より一部顧客様向けの品種が増えたことで作業時間の増加、フォークリフトの稼働の増加が考えられ、目標を達成することができなかった。
ガソリンについては遠方の取引先への外出増加、トラックの使用率の増加などが重なり、二酸化炭素排出量の目標達成ができなかった。

藤岡工場

電力消費量については基準 3,004 KWh/千万円に対し、実績 2,766KWh/千万円で-238KWh/千万円、-7.92%で目標を達成した。昨年同様に設備使用割合が少ない新規事業の売上があり、原単位での電力使用量の減少に寄与している。
ガソリン消費量については基準 5.61L/千万円に対し、実績 4.91L/千万円で-0.70L/千万円、-12.48%の数値で目標達成である。昨年取り組みをした不用意な外出や乗り合い乗車、まとめたの用事足し、顧客への訪問や他工場への外出についても複数人で1台と今年度も継続した結果減少したと思う。
軽油消費量については基準 63.51L/千万円に対し、実績 56.55L/千万円で-6.96L/千万円、-10.96%で目標達成を達成した。昨年から専属のフォークリフト作業者を2名から1名にし、事前の段取りを1回で集中して行えたことも削減した要因と考える。

足利工場

・基準999kg-co2/千万円に対し、1,081kg-co2/千万円と基準値に対して+82kg-co2/千万円で目標未達成となった。環境への負荷の状況を見てみるとCO2排出量は電力以外は減少し、全体を占める割合からも電力のCO2排出量約85.7%に対し、今年度は86.6%と+0.9%、ガソリンは2.01%→2.00%、軽油が12.2%→11.4%、LPGは0.08%→0.05%となり、電力以外は減少したことが伺える。生産総数量は減少傾向にあり、それに伴い作業人員の調整を行った結果、稼働時間が増えたことが主な要因である。又、上記理由により荷卸しや積み込み作業

宮城工場

・電力消費量については基準3,898Kwh/千万円に対し、実績3,556Kwh/千万円と9%減で目標を達成した。基準年と比べると木材価格が上昇しており、売上が上昇したことと、全員の節電意識が高まり節電の効果が出てきている。
ガソリン消費量は基準18.27%/千万円に対し、実績22.51%/千万円と23%増となり目標未達となった。昨年同様関東への応援者の異動等によりガソリン消費量が増えたことが原因。
軽油消費量は基準91.64%/千万円に対し、実績78.78%/千万円と14%減と目標を達成した。リフトの台数を1台減らしたことの効果が今年度も出ている。
これらのことから、CO2排出量については基準2,036kg/千万円に対し実績1,860kg/千万円と9%減と目標達成できた。

本社

いくつもの主要な目標が未達となり、排出量も+8.8%となってしまった。
外部要因(建物共用利用者の意識)も徐々に改善しつつあるが、設備見直し(建物共用部のLED化)や共用利用者に対する問題提起により、次年度は達成できるように進める。

② 廃棄物排出量の削減

石塚工場・資材部

一般廃棄物排出量が-0.333kg/千万円、産業廃棄物(木材)が+95kg/千万円となった。
昨年度に引き続き、印刷前に内容確認を行い誤出力を防ぐなどの取り組みを個々が確実に行った結果が成果として出ている。
産業廃棄物に関しては、樹種の変更があり、チップにできないポプラ材・杉材の出荷が増加したことにより、目標を達成することができなかった。

藤岡工場

※産業廃棄物の木材(合板)については基準 491kg/千万円に対し、実績 509kg/千万円で+18kg/千万円、+3.66%と目標を下回った。
昨年同様資材高騰により今まで廃棄していた合板端材の見直しを行い、再加工→製品化を実施してきたが思うような結果にはならなかった。
○廃プラについては基準 170.9kg/千万円に対し、50.38kg/千万円と-120.52kg/千万円、-70.52%と目標を大きく上回る結果となった。主な要因は主に社内で減容したシートを4回ほど産廃業者で処分したが処分しきれないものもある為、結果、減少したと思われる。

足利工場

・一般廃棄物は基準 2.759kg/千万円に対し実績 3.090kg/千万円で+0.331kg/千万円(+12.0%)となり未達成だった。昨年同様、裏紙の使用や、電子媒体等の取り組みを行ったが、コピー用紙の使用量が原単位で上回っている為、目標達成には至らなかった。
・木材は基準 173kg/千万円に対し実績 142kg/千万円で-31kg/千万円、-17.9%となり目標達成となった。要因としては処分する材料に使用されている釘を取り外し分別した結果、処分量が全体的に減少し目標達成になったと考えられる。
・断熱材は基準 242.07kg/千万円に対し、実績 227.29kg/千万円で -14.78kg/千万円、-6.1%となり目標達成となった。要因としては断熱材加工で原反から製品を取る歩留を向上させたことや出荷する製品仕様等の変更により相対的に歩留が向上されたことが考えられる。

宮城工場

・一般廃棄物は基準8.36kg/千万円に対し8.15kg/千万円と3%減で目標を達成できた。紙の再利用の意識が高まり、効果が出ている。
木材は基準203kg/千万円に対し26.43kg/千万円と87%減で目標を達成できた。昨年同様に有価で木材の端材を引き取ってもらっている。

本社

取組に関しては、習慣化により100%実施することができている。昨年からは始まった電子帳簿保存法の効果はかなり出ており、コピー用紙の購入量及び廃棄が大幅に削減された。基準に対して-22%と目標が達成された。
今後も電子帳簿保存法の仕組みが浸透していくことで、さらなる削減に繋がると思われる。

③ 水使用量の削減

石塚工場・資材部

2023年12月頃から一部顧客様向けの品種が増加し、防腐層の使用率も向上したことが目標達成できなかった原因と考えられる。継続して節水の呼びかけや表示などを行っていく。

藤岡工場

基準 22.02m³/千万円に対し、2.281m³/千万円と-19.739m³/千万円、-89.64%と目標を大きく上回る結果となった。主な要因は4年前に行った古い水道管からの漏水修繕工事から1年が経ち適正な水使用量に戻った為である。この使用量が標準的な使用量だと考えられる。

足利工場

・基準 3.293m³/千万円に対し、3.619m³/千万円と +0.326m³/千万円、+9.9%となった。使用量としては昨年183m³に対し、164m³と-19m³下がっているものの未達成となった。理由としては原単位に対しての比率割合が大きく影響している。

宮城工場

・基準0.75m³/人に対し実績0.9m³/人で20%増と目標未達となりました。基準年と比べると稼働日数が増えたことが要因です。継続して節水を心がけていきます。

本社

基準に対し-5.78%の実績となり目標達成となった。前年度課題となっていた建物共用利用者への節水促進に関して、共用部分での注意喚起(節水ポスター掲示等、使用量表示のある浄水器設置)の効果により、建物共用利用者への意識の改善に繋がったと思われる。今後も利用者全員へ改善意識が崩れないように継続していきたい。

④ 化学物質使用量の制御

石塚工場・資材部

引き続き防腐液の客先指定濃度の維持を徹底していく

藤岡工場

購入品に対する化学物質の把握から必要なSDSを入手し管理台帳を付けることによって維持管理を行った。又、安全衛生委員会等で保管方法や取り扱いについての確認を行い、適切な方法で保管・使用することが出来た。

足利工場

・基準 2.86kg/千万円に対し2.03kg/千万円と-29%となったが、1回/月の防腐液濃度検査の値からも特に問題なかった為、使用量も適正と考える。

宮城工場

毎月1回 防腐済みの試験片を検査機関へ郵送し薬剤の使用量が適正か否かを検査し、管理しています。引き続き、使用量を適正な管理を行い、過剰な使用は、絶対行わない事を徹底する。

⑤ 事業項目

石塚工場・資材部

現地サプライヤーへの改善要求を行った結果が出てきている。

藤岡工場

不良率の基準値 6.7%に対し実績としては12.2%で+5.5%の増加となった。不良の内訳で見ても反り、曲がりが多く、定期的的不良の低減に繋がるよう情報交換をしていたがあまり効果が見られなかった。そもそも、日本国内の住宅メーカーの品質基準が厳しい為、使う部位によっては基準を緩めてもらう提案も必要かと思う。

足利工場

・基準 0.031%/千万円に対して実績は、0.000%/千万円で目標達成となった。今年度は工程内で発生した不良品は、発生した時点で手直し作業を行い不良品廃棄をゼロにした結果、不良率もゼロとなっている。この作業については今後も継続していく。

宮城工場

・内壁枠生産不具合率は基準0.03%、実績0.018%となり目標を達成できた。工程間の不具合情報の交換を密に行い原因と対策を速やかに行うことが出来てきている。今後も継続して取り組みます。

⑥ その他

石塚工場・資材部

パトロールの強化を目標としていたが、改善できている範囲は少ないと感じる。
全員が共通の改善意識を持ち、お互いを刺激し合って水平展開ができるようにしていく。

藤岡工場

工場内に木材の端材が保管されているが使用できない状態で保管されているものもある為、工場内、または他工場でも転用できないと判断した場合は処分するなども考えるようにする。

足利工場

・工場の建屋内や敷地内に不要な物があり、整理・整頓が出来ていない状況が見受けられた。来年度は有効活用する意味でも整理・整頓の徹底化を図りたい。又、従業員が興味を持ち自ら活動しやすい環境を作り上げていく。

宮城工場

・5S活動については管理者のパトロールのみではなく、顧客に1回/月のパトロールを実施してもらっています。細かいところまで指摘してもらうことにより5Sの意識向上につながるような活動を行っております。

本社

今年度は、10月のインボイス制度の施行、1月の電子帳簿保存法の義務化等、業務の変化に合わせて対応した結果、削減に繋がる活動となった。前回のレポートにて変化に適切に対応・利用することで、環境活動に更なる改善を行う。という命題が成就したものと考える。

宮城工場 2024年度 環境経営目標・活動計画及び実績表

作成日: 2024年6月7日



中期目標(2024年度)	2024年度目標 (2023.6.1~2024.5.31)	施策(対策)	取組内容	2024年度												担当者	責任者	
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5			
二酸化炭素排出抑制	軽油消費量 90.27% / 千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 91.64% / 千万円	軽油消費量 90.27% / 千万円 1.5%削減	エコドライブの推進 エコドライブ推進手順書参照	アイドリング・ストップ 不必要なスピードは出さない 急発進・急停止を避ける。 空荷走行の低減													全員 全員 全員 全員	遠藤
	ガソリン 18.09 / 千万円 1.0%削減 (2021年度基準) 18.27% / 千万円	ガソリン 18.00 / 千万円 1.5%削減	エコドライブの推進 エコドライブ推進手順書参照	アイドリング・ストップ 不必要なスピードは出さない 急発進・急停止を避ける。													全員 全員 全員	伊藤
	電力消費量 3,840Kwh / 千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 3,898KWh / 千万円	電力消費量 3,840Kwh / 千万円 1.5%削減	節電意識の徹底 電力消費量削減手順書参照	昼休み消灯 エアリークのパトロール コンプレッサー稼働時間の短縮 使用後は、主電源 OFF													全員 高橋 伊藤 全員	工場管理者
	一般廃棄物排出量削減 8.276kg / 千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 8.360kg / 千万円	一般廃棄物排出量削減 8.276kg / 千万円 1.5%削減	コピー用紙の削減 コピー用紙削減手順書参照	印刷前に必要か再確認 現在の印刷物の必要性再確認 裏紙の再利用													業務課 業務課 業務課	伊藤
廃棄物減出抑制	産業廃棄物(木材)排出 200kg / 千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 203kg / 千万円	産業廃棄物排出量削減 200kg / 千万円 1.5%削減	廃棄物を減らす意識改革 廃棄物削減手順書参照	歩留り向上による削減 リン木、パレットの返却 端材の再利用を検討													製造課 製造課	橋本
	産業廃棄物(廃プラ)の削減 232.46kg / 千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 236kg / 千万円	産業廃棄物(廃プラ)の削減 232.46kg / 千万円 1.5%削減	廃棄物を減らす意識改革 廃棄物削減手順書参照	廃棄物の少ない材料を検討 廃棄物の圧縮・減容													パネル課 パネル課	遠藤
	水使用量の節減 0.729m ³ / 人 1.5%削減 (2021年度基準) 0.75m ³ / 人	水使用量の節減 0.729m ³ / 人 1.5%削減		節水の呼びかけ 節水のポスターの掲示														伊藤(和) 伊藤(和)
化学物質使用量 濃度の維持管理	化学物質使用量 濃度の維持管理	防錆剤使用量の確認	請求書から該当品の確認 防錆液濃度の定期検査														橋本 橋本	橋本
事業項目: 内壁枠生産不具合の低減 0.0296% 1.5%削減 (2021年度基準) 0.03%	内壁枠生産不具合の低減 0.0296% 1.5%削減	組立にまつわる不具合の低減 品質改善 機械チョコ停の原因と対策	組立後の再確認														遠藤	遠藤
5Sの推進	5Sの推進	工場の整理・整頓 安全衛生パトロール	安全衛生パトロール 通路と作業場の明確化														全員 全員	伊藤
---> : 計画 → : 実施 評価(実施項目数) A: 18以上/26 B: 12以上/26 C: 6以上/26 D: 5以下/26				実施項目														
				評価														
				確認														
				日付														

10.環境関連法規等の遵守の状況確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

全工場および本社は、2024年6月中に環境関連法規等の遵守状況を確認した結果違反は有りません。尚、関係当局からの違反の指摘も過去5年間無く、訴訟等も過去に1件も有りません。

・法令遵守のチェック

部門	遵守状況の確認
石塚工場・資材部	廃棄物処理法,PRTR法,騒音規制法,振動規制法,自動車Nox・PM法,省エネ法,フロン排出抑制法
藤岡工場	廃棄物処理法,PRTR法,騒音規制法,振動規制法,自動車Nox・PM法,省エネ法,フロン排出抑制法,浄化槽法
足利工場	廃棄物処理法,PRTR法,騒音規制法,振動規制法,自動車Nox・PM法,省エネ法,フロン排出抑制法,浄化槽法
宮城工場	廃棄物処理法,PRTR法,騒音規制法,振動規制法,省エネ法,フロン排出抑制法,浄化槽法
本 社	廃棄物処理法,省エネ法,フロン排出抑制法,浄化槽法,グリーンウッド法

各部署に於いて、以上の法律に関して遵守状況を確認し、違反・書類不備の無いことを確認した。

11.代表者による全体の評価と見直し指示

全体についての評価、今後への指示事項

製造部門(4工場)は、昨年度までは二酸化炭素の排出を目標より大きく削減出来ていたが、いくつかの未達成が発生している。前回の更新審査時にも指摘があったが、活動内容のみで達成できる目標が厳しくなっている。今後は、省エネ設備の導入を含めて、二酸化炭素の排出削減へつなげていきたい。昨今の電気代の高騰も継続しており、引き続きコマメな節電(全従業員参加)も合わせ実施していく。

1、SBT認証の目標達成への取組み(顧客からサプライチェーンへの要望)

- ・2023年4月に申請取得している。
- ・認証内容は2018年を基準年度とし、年間-4.2%/年を目標として2030年度に-50%を達成を目指すもので、2023年度は年間-4.2%を目標とする計画だったが、現状、既に従業員の活動だけではこれ以上の目標達成が厳しくなっている。よって現段階では実現が難しい目標であるとの結論に至った為、2024年度までは当初の目標を設定し、2025年度以降の目標にはクリーンエネルギー・省エネ設備(太陽光、車両等を含む)導入を踏まえて2030年までの目標を定める。

2、廃プラの有効的な再利用を検討する。

- ・現状産廃処理。引き続き有効な再利用を検討する。(継続課題)

3、弊社事業に係る関連会社の環境へ影響を及ぼす活動についても取組む。(継続課題)

環境経営方針	・環境方針は変更せずに継続します。
環境経営目標及び環境経営計画	・SBT認証の目標に準じて2023年度より二酸化炭素の排出量の目標を-4.2%へ変更するとしたが、再検討し、従前の環境経営目標のとした。2024年度も継続し、年度終了時に再度見直しを行う。
実施体制	・2024年1月に代表取締役社長 戸叶 覚が退任の為、代表取締役会長 篠崎 良三が社長を兼務し、エコアクション21の運営については専務取締役 岡 茂夫が責任者とする。 ・2024年度より環境管理責任者を、本社 牧野より宮城工場 業務課長 工藤勇也へ変更する。